

Ⅰ 若者・子育て世代向け意識調査の結果

調査概要

①調査対象

南砺市内在住の若者・子育て世代 235 名

②調査方法

市ホームページへの掲載、公立保育園在児の保護者へ保育園 ICT「CODMON」からの案内

③調査期間

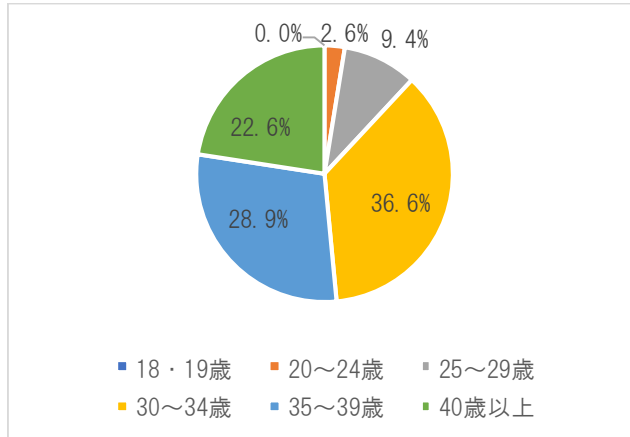
2022（令和 4）年 6 月 1 日～30 日の 30 日間

④調査の回答方法

富山県電子申請サービス（インターネット）による

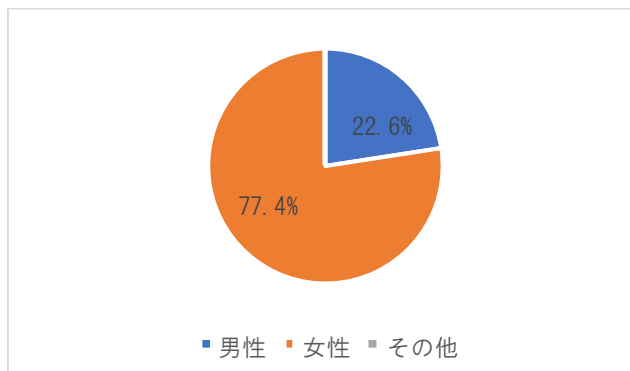
(2) アンケート調査の結果

①年齢



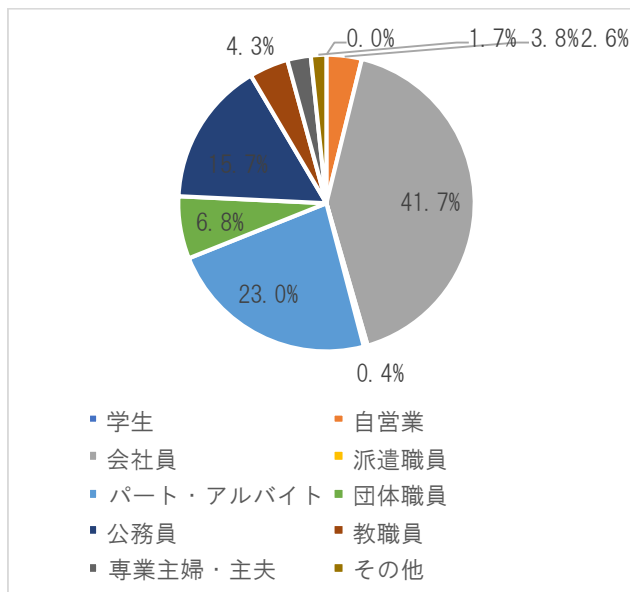
年齢		
18・19歳	0	0.0%
20～24歳	6	2.6%
25～29歳	22	9.4%
30～34歳	86	36.5%
35～39歳	68	28.9%
40歳以上	53	22.6%
計	235	100.0%

②性別



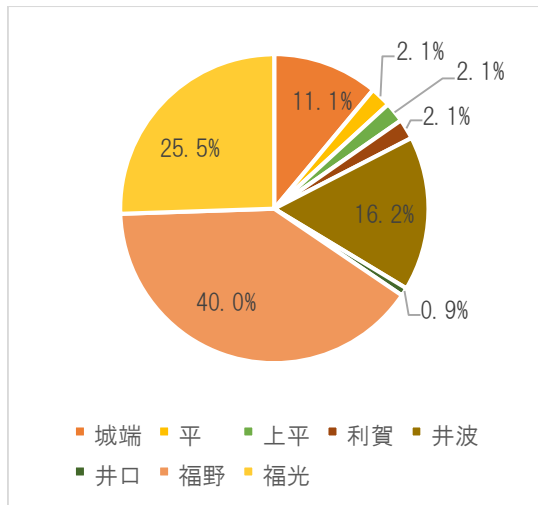
性別		
男性	53	22.6%
女性	182	77.4%
その他	0	0.0%
計	235	100.0%

③職業



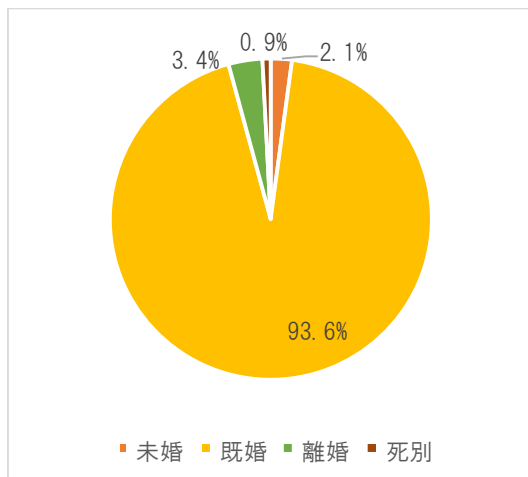
職業		
学生	0	0.0%
自営業	9	3.8%
会社員	98	41.7%
派遣職員	1	0.4%
パート・アルバイト	54	23.0%
団体職員	16	6.8%
公務員	37	15.7%
教職員	10	4.3%
専業主婦・主夫	6	2.6%
その他	4	1.7%
計	235	100.0%

④居住地



居住地		
城端	26	11.1%
平	5	2.1%
上平	5	2.1%
利賀	5	2.1%
井波	38	16.2%
井口	2	0.9%
福野	94	40.0%
福光	60	25.5%
計	235	100.0%

⑤婚姻状態



婚姻状態		
未婚	5	2.1%
既婚	220	93.6%
離婚	8	3.4%
死別	2	0.9%
計	235	100.0%

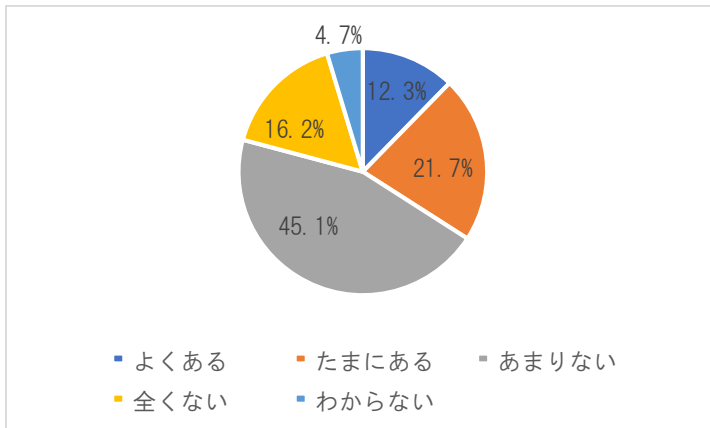
⑥子どもの有無



子どもの有無		
あり	229	97.4%
なし	6	2.6%
計	235	100.0%

1. 家庭

①ご家庭において、性別による不平等を感じる時はありますか。



よくある	29	12.3%
たまにある	51	21.7%
あまりない	106	45.1%
全くない	38	16.2%
わからない	11	4.7%
計	235	100.0%

②それはどんな時ですか。

家事育児負担について
・ 夫の思考が前時代的であり、家事等をしない。 家事をしないのに家計の負担は変わらず結婚している意味がない
・ 私と母でご飯の支度をしていても父は動かない。家計は父の給料が基本だが、私も父と同じくフルタイム勤務なのに、なぜ家庭になると父が動かない時間が多いのかと不満に思う。また、弟が実家に帰省した時も似た状況であるため、女兄弟と男兄弟での違いを感じる。
・ 食事作り、家事全般
・ 家事、育児は女性がするものだと思っているようで全く手伝ってくれない。
・ 子どものことはすべて母親がすること。
・ なぜ女ばかりが家事をするのか。
・ 平日は女ばかり家事、子育てをしているところ。
・ 母親が子育て、家事をする
・ どんなに忙しくてもご飯の用意は私がしている事。ご飯は準備できないと言われる。
・ 家事の負担がどうしても母親に偏る。
・ 共働き 夫帰宅時間 21 時以降 子供 3 人 核家族 家事オール妻
・ 夫の仕事が忙しく、家にいるときは家事育児をしてくれるがいないことが多いため、ほとんど私がしていること。
・ 家事育児を一手に担っている。たまに周りの人が手伝うと感謝の意を伝えるように強要される。普段やっている私に対しては感謝の言葉がないのに。
・ 女が子どもを見ることが当たり前の世の中だと思う。孫守りも祖母が多い。
・ 妻が家事の大半を行う前提で、夫はあくまで家事は手伝いであること。

・ 家事は母の仕事が当たり前。
・ 家事、子育ての比率が偏りすぎ。
・ 家事、育児など、やることがたくさんあって時間に追われている。旦那は帰りが遅く、仕事で疲れているのもわかるが、のんびりしているのを見ると自分ばかり大変な思いをしていて手伝ってほしいと思う。
・ 家事育児など、母親がやって当たり前な部分が多いと感じるから。
・ 女性が家事全般をする。
・ 家事の不平等
・ 家事のほとんどを自分がやっている時。
・ 家事をする主体が女性。男性はサポート…。でも、女性も働く社会。
・ 料理とか最近作ってくれない。
・ 同じような職業をしても、家事や育児は女の方がメインの仕事だということを感じる。自分の予定を決めるときも、母親の場合はいろんな人に協力してもらわないと予定を組むことができないが、父親の場合は母親である自分がいれば大丈夫であるとき、自分ありきの家事や育児だと感じる。
・ 子育て、家事全般に母親が担っている。
・ 自分は、授乳はできないし、寝かしつけも上手にはできないので、料理やお風呂、ゴミ捨て、洗濯など他の部分でカバーしようとしている。男性の育休取得は職場の状況が許さなかったし、上司の理解もなかった。こういった部分は不公平さを感じます。
・ 急な休み（コロナで休園）の対応は、母親になりがち。子育ての「遊び」以外の部分（例：爪切りや歯磨きなど）は母親任せ。
・ 家事、育児への関わりは母親が多い。
・ 女性の方が家事をやる比率が大きい。
・ 夫婦共に残業しなきゃならない時にも、途中で仕事を切り上げて子供の世話を自分がしている時が多い。（女性は家庭を優先？自分の仕事内容が甘く見られている？）
・ 家事育児の割合が圧倒的に女だから、母親だからという理由で負担が多い。
・ 女性が家事や子育てなどをメインにするのが当たり前という雰囲気。 女性がどんな気持ちでそういったことをしているのかは、考える機会も無い。
・ 送り迎えをする時間帯で早い時間にお迎えに行けるのが母親しか行けない状況です。 どうしても男の人の方が、収入が多いので、パートや時短で働くのは女の人の方だけだと感じます。家庭により違うとは思いますが、家事をするのも女の人の方が割合も多くなるし、子どもも結局ママじゃないとダメな時もあると感じます。
・ 家事の中心は嫁。朝早く出ないといけないときも仕事で遅くなっても、いつもより早く起き、遅く寝るのは嫁側になる。何も出来ない訳ではないが、時間は同じように毎日1人1日24時間しかない。
・ 子育ての比重

・ 女は仕事に家事子供の事全てこなさないといけない。男は仕事をしていればいいと思っている
・ パパは子供をみず遊んでママはずっと大変だ。
・ 女だけが育児休暇を取って子育てしなければいけない。
・ 家事を主に女性がしているとき。
特に価値観・意識について
・ 家事育児は女性が中心にやるものだという意識が社会的にも家庭的にも根強くある。
・ 仕事と家事の役割分担。
・ 妻としての役割、嫁としての役割、母としての役割が多すぎる。
・ 子どものお世話でうまくいかないといライラするのですが、自分は伝わらないように我慢しているのに、相手(主人)はあからさまにイライラを出すところ。
・ 妻が「子守り」するという考え方。妻が「ご飯作る」という考え方。(夫が思っている)
・ 嫁だから〇〇すべき、という義両親の圧を感じる。
・ 夫が家事、育児は母親がするものという前提で、仕事もパートではなく正社員で、という考え。働く前は家事も育児も手伝う(手伝うって何?)と言いながら、働き出したら結局してくれない。部屋が散らかっていたら責められる。惣菜が出てきたら文句を言われる。なんで自分は何もしようとしなのに、同じように働いてきた嫁にそこまで言えるのか。
・ 女は家事育児をしないと白い目で見られるけど、男はせずに携帯だけ触っていても許される雰囲気。
・ 無意識的に「女性が家事をする。子育ても基本的に女性がする」みたいな感じがする。子供の風邪で休むのも母親。
・ 共働きでフルタイム勤務しているのに、家事負担はすべて女性になっている。それについて当然のように振る舞い、役割分担をする意志がない。
・ 後期高齢者の義祖母が男にご飯をよそわせない時。家事をするのは女という考え方を曲げない時。
・ 夫婦共働きであるのに、家事の負担が妻ばかりにかかっているとき。同じことをしてもママは褒められないがパパは周囲から褒められるとき。
・ 母親だから。 女だから家事をする、洗濯をする、 古い考え
・ 女だからご飯を作らなければならない、掃除洗濯をしなければならない、子供のお世話をしなければならない、という考えが定着している。椅子に座っていればご飯が出てくるという考えを持っている夫に殺気を感じます。
・ 地域の行事や仕事を優先することに対して、家庭内での許容範囲が男性の方が広い。
・ 子どもの世話や家事は基本的に母親が行っているとき。年配の家族の男尊女卑発言が

多いとき。
その他
・ 孫に対して、「女の子だから靴を揃えよう。女の子だから気が効くように。女の子だからそんな勉強してももったいない。」など、しつけを手伝ってもらえるのはいいが、いちいち「女の子だから」と付けるのはどうかと思う。旦那を立てた方がいいとも言われる。
・ 収入の差や育児分担
・ 夫の方が仕事優先している。
・ 家に蛇が出た時の対応は常に男性任せ。
・ 家庭内で家事分担に不平等はありますが、それは一個人によるものではなく、家庭以外での仕事量の不平等によるものと感じています。会社などでの仕事もさることながら、地域活動としての仕事がとて多すぎます。移り住んできて家庭内の変化をひしひしと感じています。核家族や一人暮らしの人が担える量ではないと思います。 現在、消防団の操法大会の選手として練習にしていますが、ワンオペ育児かつ練習の補助（洗濯、食事の用意）などで私は崩壊寸前です。体育会系ではないにもかかわらず、足が遅いなどの理由で怒鳴られるなどストレスにさらされて、家庭内にもしわ寄せがきています。今から消防団に入る世代の人は競争させなくても、説明会などで勉強すると思います。または、幹部世代の方への最新のスポーツのパフォーマンス向上方法などの講習もしていただきたいです。勝手なイメージかもしれませんが、地域同士の小競り合いのために、地縁のない人が体力と時間を搾り取られている印象です。地域内でそれが分かっている人は同世代でもほとんど砺波などに避難しておられます。

③どのような変化があれば、暮らしやすい環境になると思いますか。

家事育児等の分担・協力
・ これは自分の担当じゃないからと割り切るのではなく、お互い積極的に手伝いあうようにすること。
・ 共働きなら家事も分担できたら良い。
・ せめて体調が悪い日だけでも家事（特に食事や洗濯、ゴミ捨てなど）育児はしてほしい。
・ 夫婦2人の子どもたちなので、もう少し保育園や学校の準備、病院受診、子どもの体調不良時の欠勤など、協力してほしい。
・ 家事の平等または、母親が家事に専念できるよう父親の給料が上がるとよい。
・ 家事を気軽にアウトソースできるようになれば暮らしやすい環境になると思う。
・ 家事の軽減
・ 家庭内での役割分担がなされたらよい。

・ 子どもの歯磨きや遊び相手になってくれるとその分はかどると思う。 協力してほしい。
・ 家事育児が楽になって欲しい。金銭面的にもっと余裕があればいい。
・ 男女問わずにできることをする。
・ 育児は手伝ってくれるので家事も少しは手伝って欲しい。
・ 分担を決めても3日ぐらいしか夫は続かないので、あきらめ半分。日替わりで家事分担を替えてみる。
・ 育児を率先して関わる。
家事を責任持って分担してほしい。
できるほう、手が空いている方が進んで家事をすすめる。
・ 夫との家事、育児の分担、してくれないならせめてこちらがパートでもやっていけるくらいの稼ぎと、家計に入れてくれれば、こちらの負担が減るので、暮らしやすい。 出来てないことを責めるより、気がついた方がやれば、言われた方が嫌な気持ちにもならないと思う。
・ 夫からの自主的な協力
・ 子供のお風呂やご飯の支度を夫も担当する。
・ 家事の協力
・ 夫の家事参加。洗濯機をまわす、掃除機をかける、1食でいいのでご飯を作るもしくは弁当など調達してくる、など簡単なことをしてくれたら不平等は感じません。
・ 男性の家事参加を増やす。
・ 女性である私も働いているので、家事や子育てをもう少し旦那にも手伝ってもらいたい。
・ 父親も子どもの食事やお世話に自ら係わってくれるといい環境になると思う。年配の家族も男女平等を理解してくれるといい。
職場環境が変わる（変える）
・ 仕事が定時に終わり、夫婦で子育てできる環境になればいい。男も料理ができると嬉しい。
・ 夫の収入が増えれば私の仕事もパート等にして働く時間を減らせる。そうなれば家事にも余裕が出来る。
・ 女性の給与を上げる。年金生活者を優遇するのではなく、若い人をもっと金銭的に優遇すべき。
・ 早く帰ってきて欲しい。子どもの面倒を見てほしい。
・ 会社の育児参加における理解
・ 男女比ない給料構成
・ 夫の仕事が定時で終わり、家庭に時間があること。
意識変革

・ 育ってきた環境が違うので否定はしないけど、「昔はこうであった。今の人はワガママで我慢しない。私はそんな暇なかった。女だから〇〇しなくていい。」など言われると、そうしないといけないのかな…とやりたい事、言いたいことを伝えにくいので、比べるような事を言わないでもらえると良いと思う。
・ 仕事をやめる。離婚する。夫の意識が変わる
・ 男の人でも当たり前に見ることができ世の中になればいいと思う。子どもの発熱の呼び出しに、パパや祖父が迎えに来ることが普通になればいいと思う。
・ あくまで個人の努力ですが、うまくいかない時には自発的に子ども不在の機会に誰か（妻以外）に相談する意識を持つようになれば、子育てについて考え方を変わってくれると思います。
・ 家族全員が協力できるような気持ちと時間的余裕。
・ 自分のことは自分でやる、男女差でこうすべき、という意識や口出しをしない。
・ 父親側の意識の変化。何事も挑戦してみようというマインドを持つ必要あり。
・ 夫の考え方に変化があれば…。(負担割合がおかしい事に気付いてくれ)
・ 何か言っても言われても機嫌をそこねすぎないこと。お互いに家事育児仕事が両立できる関係。
・ 昔ながらの考えがなくなれば、暮らしやすい。
・ 両親の収入安定、休日の確保が必要
・ 男も仕事を休んで子育てに参加しやすくする。
その他
・ 母である私が急に（事前に予告ありではなく突然）無期限でいなくなれば危機に瀕して少しくらい大変さがわかってきたら周りも心配りしてくれるようになって暮らしやすくなると思う。
・ 家事育児をしない夫や舅に対する世間からの厳しい目。点数化し実名で地域に回覧。
・ 女性側の時間的な余裕がない！
・ 休みのうちに色々溜まった家事をしたいので、特に休日などに預け先があると良いと思いますが、働き方的に今の時代に逆行するのかもしれない。
・ してくれて当たり前ではないと感じてくれる機会があればと思う。男性同士の会話する機会などあれば他の家の情報も耳に入りいいのかなと思います。
・ 旦那の親兄弟と別居したら気持ちも経済も楽になります。
・ 家事や育児などを、お互いにどんな風にしていきたいと考えているのか、話し合うことが必要だと思う。結果として女性が多く担うということはあるかもしれないが、合意があるのとないのとでは意味合いが全く違う。女性もそれを伝えなければいけないし、男性も女性の意見を聞く前提でいる必要がある。
・ おじいちゃんおばあちゃんに頼れない家庭は、女の人が無理して働かなくても良い環境であった方が、子供に接する時間も増やせるし、子供のためにもいいと思う。

- ・我が家に関しては、地域の役を減らしてもらい夫がもう少し家にさける時間がほしいです。

④その変化を生み出すためには、何が必要だと思いますか。

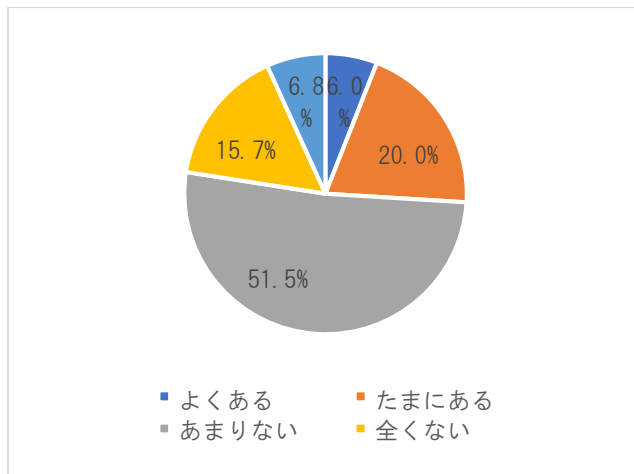
職場環境が変わる（変える）
・ 父親側の会社の理解。同僚の協力。
・ 社会が変わればいい。定時で帰れる雰囲気作り。業務内容の見直し。
・ 夫の収入増
・ 男は会社を辞めてはいけない。絶対やめられないという風潮がなくなればいい。育休制度もそうだが、夏季休暇や子どもの病気休暇をとることをもっと普及して、子どもとふれあう機会を増やせばいいと思う。
・ 有給の取得しやすさを上げる。定時退社促進し、給与のベース UP
・ 仕事と家事、育児が両立できるような働き方。
・ 会社の理解、制度。社会福祉の在り方。
・ 男性側の理解、家事の分担。働く女性は時給 1.5 倍に UP すると、働く時間が短縮されて、その分を家事にまわせる。働く女性のための給付金、ほんのわずかでも自由な時間をつくりだすと、心が満たされ余裕ができる。子供に強く叱る回数も減り、虐待防止。
・ 夫の職場等、周りからの「家庭の事も大事にね」というプッシュ(自分が言っても効かないので)
・ 収入的にも余裕があれば良いのですが、働かないといけない家庭もあると思うので、もう少し支援していただけるとありがたいと感じます。家事や育児をしながら働かなくてもいい家庭もあっても良いと思います。無理をしてストレスを溜める方が健康的にも家庭的にも良いと思います。
・ 残業がなくなり、家に早く帰ってくる。
・ 安定した収入が得られる仕事、制度が必要。
・ 仕事先の上司の意識が変わる必要がある。
・ 会社が強制的に育休を取らせる
自治体による支援体制の強化
・ シルバー人材センターなどで家事をやってくれる人と、子育て世代の縁結びみたいなことを自治体にしてもらいたい。
・ 放課後児童クラブから家までの送迎。子供の人数によって減税してほしい。 病後児保育等、何をするにしても手続きが面倒。もっと簡単にスムーズに申し込みができる流れを作してほしい
・ 市の強制力
・ 金銭面においては、片親世帯への支援などはいろいろ考えられているのに、多子世帯

(子どもが4人以上)への支援などがあまりないので苦しい。子どもの人数分だけお金はかかるのに、そこに対しての保証などが十分ではない。金銭面的に余裕が出来たら、家事育児も楽になる部分も出てくる。
・ 国、市からの子育て世帯への給付金。こども手当の増額。市からの金銭面での支援の強化。
意識変革
・ 個人が言っても、あなただけ。あなたの周りだけと捉えられると思うので、現在の私たちの生活スタイルや考え方など一般的なモデルケースとして理解をしてもらえるように、広報のコラムや老人会の何かなど常に情報が無意識にでも入るようにする。理解してもらえると同居しやすい。若い世代も増えると思うし、共働きで子供のいる家庭には助けてもらえるメリットあると思う。
・ 夫の価値観を変えること。
・ 男性も家事や育児に参加が当たり前という風習作り。何をすればいいのかわかりやすいカリキュラムがあるといい。 男性でも簡単に作れるレシピ等を今まで家事に興味のない男性でも目の引くようなものがあるといい。
・ 女性がするという意識と社会的イメージの変化が必要。
・ 意識の変化
・ 50代60代に伝わるように、テレビや新聞で今の家庭のあり方を教えてあげて欲しい。 今は、みんなが協力してなんでもやるべきだと思うから。
・ 年配者、地域の意識改革
主に父親向けの情報共有の場
・ 他の父親の日々の取り組みを知ることが有効だと考えます。
・ お父さん同士の会話する機会をつくる。
・ 父親の仕事が忙しすぎないように会社や社会が取り組んでくれること。 離乳食の作り方や育児への協力のしかたなどは、母親にだけ教えるのではなく、むしろ父親への教育の場が必要だと思う。 年配の家族には家族が話しても理解してもらえないので、地域で教室を開いて学ばせる機会が必要だと思う。
自分が行動する
・ 思いやりやしてほしいことを伝える。
・ 相手が嫌にならないような言い方でお願いしてみる。
・ 朝の余裕。見えやすいところにタスクを貼り付ける。
・ 自分からの働きかけ
・ 話し合い。お互いを信頼して、自分の要求を正確に伝える場。
・ 家事、子育てに積極的に参加してもらえるように些細なことでも話を共有する

その他
・ 男女の平等に固執するのではなく、役割分担ができる世の中となる方がよいと思う。地域的に男尊女卑が根強い地域であるのだから、男女平等よりも、もっと融通のきく社会の在り方を検討した方がよいのではないかな。
・ 家庭内で話し合ってもクローズドな環境なので、相手に響かないと感ずることがある。そういう相手には第三者の意見の方が通じることが多いので、社会において身近なところでそういう議論が（世間話レベルでよいので）起きてくれればと思う。
・ 急にいなくなるだけの費用（お金）。または母である私の死。
・ 男性の積極的な育児参加
・ 本人が気づくということ、相談相手(身近なパパ仲間)と相談する機会を持つこと、私がイライラするのをやめてほしいと思っていると発言すること。
・ 南砺市の仕事が必要。
・ ベビーシッターなどの紹介。
・ 幼いうちからそうあるべきと教育する。
・ 旦那と私と子どもだけの家を建てる。またはアパートに移住する。
・ 上記と同じ。または、家事や育児に対して、女性が中心になるのなら、生活費のやりくりをもっとオープンにするなど、ある程度は女性側に持たせてほしい。
・ 言ってもその時だけで、継続性はない。他の家庭と比べると怒る。なにが必要か私が知りたいです。
・ デリバリーフェア。お弁当祭り。体に優しいお弁当のお店。そして夫の意識改革。
・ 地域の行事、役など本当に必要なものを精査していく必要があると思います。人口が減っていくにもかかわらず、役ややり方などが変わらなければ出ていきたくないのもとてもよくわかります。守っていくことも大事ですが、寛容になって取捨選択をしていかないといけないと思います。

2. 職場・学校

①ご自身の職場や学校等において、性別による不平等を感じることはありますか。



よくある	14	6.0%
たまにある	47	20.0%
あまりない	121	51.5%
全くない	37	15.7%
わからない	16	6.8%
計	235	100.0%

②それはどんな時ですか。

職務内容
・ 昇給や仕事の割り振り、発言権等。
・ 男性は裏方。女性は表方。という不平等。
・ 男女共に無意識の決めつけのようなものがあり、仕事の量や質が性差によって大きく違っていると思う。ジェンダーギャップ解消に対する意識は若い世代を中心に改善しつつあるので懸念はしていないが、早急に改善したい場合は管理者や中高年の世代にセミナーを開催してはどうかと思う。ただ、対象となる方に限って自分は大丈夫と思っているので、根深い課題だと思う。
・ 女性の仕事のほうが簡単に見える。
・ 力仕事の時、できることでも力がないと思われてやらせてもらえない。
・ 男女で区別して分担する仕事内容があると感じるところ。
・ 力仕事は男がやる。
・ 女性だけ、校歌のピアノ伴奏をするように言われること。女性だからといってピアノができるわけではない。男性というだけで免除されている。
職場環境
・ 女性が子供関係で欠席してもとがめられないが、男性の場合は休む必要があるの?と言われる。奥さんをお願いしたらなどと言われる。
・ 男女で給料の格差
・ 役職 管理職の格差。
・ 上司からのパワハラがある。最近、無視されるようになった。介護の仕事をしている

が、腰痛が酷いので仕事の改善を訴えたが聞いて貰えなかった。これはパワハラになるのではと感じる。新しく入った利用者の情報も隠蔽され部下には伝わっていない。 2回目のコロナ発覚時も濃厚接触者などの説明がなかった。犯人探しをしている。 このコロナ検査後から無視されるようになった。
・産休や育児休業、時短勤務や発熱時の早退など当たり前のように母親の仕事になっている。時短勤務など制度はあるが取ることが難しいということを知り合いが嘆いていたことがある。
・育休などの男性の取得率が低い制度について、理解している人が少なすぎる為、取得の手続きや対応がスムーズにいかない。取得後の対応も男女で差がある。
・トップになる人は、ほとんどが男性。
・女性管理職が少ない。
・小さい子だと病院へ行きたい時に休みづらい状況の場合もあるので、言いやすい環境になれば良いと思います。
・男性は夜まで仕事をしてから育児するとなると、仕事量が多過ぎて対応ができない。女性は定時で仕事が終わらなくても怒られない。
・職場では男性は管理職が多く給与の格差を感じる。
・給料が男性に比べて安い。
・給料に差がある。男性の方の給料が高い。
・給料について。
・女は定時。男は残業が当たり前の風潮。
・男性用トイレが無い保育園があり、男性職員はその園への異動が無いのに関係しているのではないか、という話を聞いたことがある。
職場や周りの人の価値観・対応
・男性職員が少ない現場なので、女性職員と男性職員が同じミスをした場合、男性職員に対して比較的優しく対応する。
・男性職員に対して「男なのだからこれくらい持てるでしょ」「男なのにこれくらいでへこむなんて情けない」等声をかける女性職員がいる。
・年配の人との関わりで昔の男尊女卑な考え方をよく感じる。
・（無口な男性社員や挨拶を返さない男性社員に対しても）挨拶は女性からしてほしい、女性はいつも笑顔でいてほしい等言われた時。
・子どもの性別について「女の子がいたら良い」、などマウントをとられる時(我が家は男の子)女の子がいると勝ちみたいな考え方。
・他人（男性）のミスをかぶらされる。
・お客様からのクレームが、対女性だと強い口調で言われ、対男性だとそこまで言われなかった時。
・男性だと適当でも許されることを女性がすると女なのと言われる。

職務以外
・ いただきものをみんなに配るのはなぜか女性社員。
・ 「2人目はいつ」と聞かれる。
・ 掃除関連など女性職員の仕事になりやすい
・ 女性しか掃除当番がない。それなのに除雪は女性もする。 (中年男性に掃除させるとめちゃくちゃにされるという意見あり)
・ 掃除は女の仕事と強要される。
・ 掃除やお茶出しを女性がしているとき。
その他
・ 年齢的に仕事量が増え、大事な仕事も任せてもらえるようになった分、妊娠でつわり等で休んだり、こどものことで休みをもらったりすることが女性の方が多いので、申し訳なさを感じる。育児があると両立が難しく、時間的余裕がなくなるため、生徒の指導に不完全燃焼な感じを感じた。

③どのような変化があれば、過ごしやすい（働きやすい）環境になると思いますか。

職場環境
・ 昇給や査定の明確化
・ 男性専用の着替え場所、トイレが全ての施設に設置される。男女平等について考える機会を設ける
・ 立場に関係なく積極的に雑務をみんながこなしてくれればと思う。
・ 上司の勉強不足。部下への労り方の勉強不足。部下への説明なく、勝手なことをしな いための説明。上司としての素質があるかどうかの問題。
・ 夫や祖父も、こどもの体調不良で緊急に休みや早退できる体制と会社の風土。育児休 暇等予め申請できるものではなく、緊急時に対応できるものが必要。
・ 性別による思い込みではなく、客観的に個人の実力が評価されるような環境。
・ 母親だから当たり前のような考えではなく、父親も早退したりしやすくなればよい。
・ せめて、掃除当番と除雪を男女で分けてほしい。
・ 役職比率を男女均等に近づける。
・ 同一賃金にする（女性を上げる）
・ もっと人材的余裕が必要。
・ 細かいことですが、ゴミ出しやお茶出し、トイレ掃除など、女性だけではなく男性も 含めて分担を決めるなど。
・ 1人だけに責任を掛けずに、休んでもフォローできるような職場作りが重要だと思 います。
・ 仕事量があっても、定時で仕事が終わる環境を作るべき。残業はしない。
・ 育児は女性という時代ではないので男性も積極的に育児休暇を取得できるようになれ

・ 賃金の見直し ・ 従業員みんなが他の人がどんな仕事をしているのかを知る。 ・ 女性だけでなく、男性社員にも配慮した職場づくり ・ 男性、女性関わらず、一人一人の特性を発揮できるようになってほしい。
意識変革
・ 性別関係なく、自らが動く姿勢や思考 ・ 管理職の再教育による性差意識の改善 ・ トップの意識改革。全国的に見た富山県の男尊女卑の比率の周知 ・ 若い世代の管理職が増えるなど、上に立つ人の考え方自身を変えなければ変わらない。 ・ 思いやり ・ まず役職者の意識を変える。 ・ 女性だから、男性だからという認識がなくなる。
その他
・ 古い考えの人間(40代～50代)の特に管理職などを処分する。会社の体質や考え方が変わっても人間が変わらなければ何の意味もない。 ・ 男女平等 ・ 制度についてもっと理解を深めるべきであると感じる。

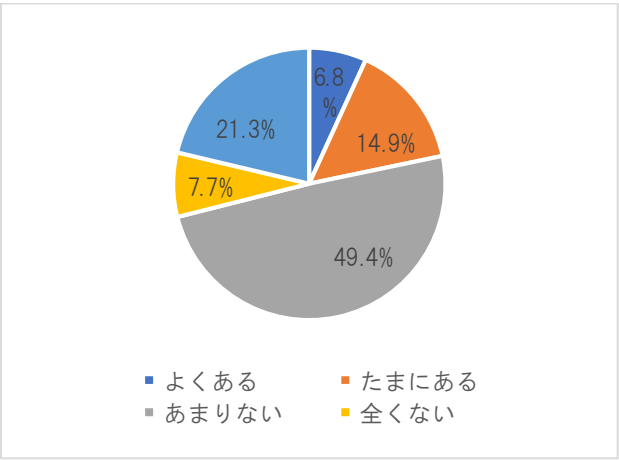
③その変化を生み出すためには、何が必要だと思いますか。

職場環境が変わる（変える）
・ 若い世代を管理職への起用 ・ 子の看護のためという特休が年間5日もらえる。父親の会社でも同等の年休制度があればよい。 ・ トップや中間管理職の指示や環境づくり。 ・ 自分の得意なことや苦手なことが気兼ねなく話せて、それを受け入れてもらえるような雰囲気があればいい。 ・ 職場の人間関係や管理者の仕事の割り振り。 ・ 雇用側の職場環境の改善が必要。子育てしながら働ける職場であるべき。
自治体による発信
・ CM、市長の SNS 発信 ・ 南砺市で各会社の子育て世帯の男性が緊急時に休んだ回数頻度を数値化して市報に掲載。 ・ 仕事量に見合った人材の量と質。 ・ 県や市が主体となった制度の説明会を企業や団体向けに開催する。

意識変革
・ 男女平等とはどんなことか、一人一人が意識できるようにする。
・ ひとりひとりの意識改革。
・ 意識改革。都市部では仕事内容の男女平等は当たり前。早く気づいてください。
・ 事業所のトップの考え方仕事のあり方を考えること
意識変革のための教育やセミナー
・ 管理職の認識。それを改善するための教育機会。
・ 初任者研修等で再教育のセミナーを必須にする。
・ 普段の意識改革。セミナーなどを通して実施する。
・ 若い世代と企業や社会での意見交換の場が必要だと思います。
・ 上司がパワハラに関しての勉強をし、部下への配慮をすること。そして部下への謝罪。
・ 役職者が外部講習を受ける
・ 経営者への講習
・ 会社による教育。
その他
・ 中年以上の男性の家事参加(掃除できるようになる)
・ 男女平等
・ 転職する
・ 法改正
・ 老害社員が辞めること

3. 地域

①地域の活動（行事や会合）において、性別による不平等を感じることはありますか。



よくある	16	6.8%
たまにある	35	14.9%
あまりない	116	49.3%
全くない	18	7.7%
わからない	50	21.3%
計	235	100.0%

②それはどんな時ですか。

性別による役割分担
・ 男性は、祭りと言えはなにもしなくても許されるが、女性には、娯楽がない
・ 女性に炊き出しが、男性に力仕事等が集中している。
・ お祭りのときに山車の上で踊るのは女の子だけでした。
・ 地区の婦人会に女性というだけで断りなく名簿に入れられた時。婦人会の活動内容も知らなかったが、どうやら公共施設の清掃活動のようで、それは地区の女性だけで実施する必要があるのか疑問を感じた。
・ 女性の会や男性の会があり、別々な集まりがある。
・ 祭りや掃除は男のもの、みたいに古い考えが蔓延っているところ。
・ 男性の役割はコレ、女性の役割はコレ、みたいな慣例がある。
・ メインの男性を支える雑用が多すぎる。獅子舞や納涼祭などの行事で深夜までボランティアという名のほぼ強制の場で、朝早くから深夜まで雑事を課せられる。しなければ、地域でダメな嫁と噂される。
・ 女性は婦人会一つの入会で様々な活動を行うが、男性はやたら〇〇会の入会が多く、活動が複雑にあるため、家を空けることが多い。把握が難しいので一本化してほしい。（忘年会や総会などの同様の内容の飲み会が多いことも含みます）
・ 地域行事の手伝い、義祖母の面倒な事を押し付けられる。
・ 男性のほうが、比重が多いのでは？
・ 祭の準備などはどうしても男性の仕事で平等ではないが、住み分けかなあ、とも思います。
・ 男性の役職の方は多い
・ 男性は地域の会合の後の飲み会に出るのが普通。女性は家で子供を見ているのが普

通。 男性は当たり前のように自由に時間を使えるが、女性は自分の時間を使うのに、家族に遠慮しなくてはいけない。
・ 役割等
・ 男だからお酒を飲めと言われたり、青年会や壮年会に入らなければならなかったりする。女性も婦人会に入らなければならなかったりする。
・ 女が酒を沸かす、女がお茶をくむ、女は祭りに参加できない、女は端っこに座るものだ 決め事は男が主体。そういうことが当たり前。いいとか悪いかはわからないけれど、女と男の役割はある。
・ 会合は男性が参加するものという意識の強い方が多い。
役職の違い
・ 責任ある立場に女性が少ない。
・ 大変な役員が男性であること
・ 役員の男女比率
・ 男性ばかりが長になり、各家庭で男性は女性に役員を押し付けられている。
その他
・ 男性主体。昔からの伝統？があるのか知らないが、昔から住んでいる人は偉いみたいな文化。自営業主体みたいなものも多い。これじゃ移住しても楽しくないね
・ 飲酒の有無など(男性はお酒飲む、女性は飲めてもドライバー役が当然、など)
・ 獅子舞で男の子が産まれたら盛大にして女の子だと普通に終わらせること。
・ 20 件前後の区長になると区長が各会合の世話をしますが、お茶だしやお酒をつぐために妻も同席します。核家族の場合、夜分に子どもを預ける先もなく同伴させなければいけません。

③どのような変化があれば地域が活性化されると思いますか。

意識変革
・ 上層部 高齢者の意識の改善
・ 高齢者が口出ししないこと。
・ 質問の答えとは少し違いますが女性だから、男性だからと決めつけているところが少なからず全員あるとおもいます。特に50代以上の方はそんな風に求められていたと思います。全員がその考え方を変えない限りは難しいのかと思います。
・ 男女関係なく自分のことは自分ですることの意識を持つ。小学校からジェンダーに縛られない教育を受ける。
・ 昔の考えにとらわれている年配の日との考え方が変わればより良い地域になると思う。

住民参加型イベントの実施
・ 参加型 子育て世代も遠慮なく参加できるイベントが良い。
・ 女性の目線と男性の目線で一緒に話し合いがあれば良いと思う。
・ ほとんど自治体で関わりがないので、全員参加型のイベントがあるとよい。
地域活動の改善
・ 無駄な地域活動を減らす。そもそも若い人が減っているのだから、負担が重い。 田舎はそういう負担が多く辛い場所という噂がネットを中心に広がっている。 必要最低限な活動は行うが、無理無駄を減らす必要あり。(効率化) 共働きなどする前提なら尚更。 ・ 婦人会など暗黙のルールのようなものが存在する。世代がバラバラの地域は若い世代には発言する勇気も持てない。家庭の構成により地域の活動に参加できない事が理解されにくい。掃除に参加しない代わりに罰金制度もあり少しの金額とはいえ腑に落ちない感じがする。 ・ 獅子舞が減れば良いと思う。 ・ 男性がもっと家庭のことをする時間が増えるよう、地域の飲み会や会合を減らしてほしい。地域の会合であってもリモートなどを取り入れてほしい。
その他
・ 地域性に賛同できる人の移住を促進する。
・ 考えていないわけではないが、正直この地域で育ったわけではないので、具体的などころがわからない。生まれ育った人が、主体的にこの土地にいたい、あるいは戻ってきたいと思えるような地域は活性化した良い地域ではないだろうか。
・ 男女平等
・ 世代交代
・ 消防団など会への入会をしないと住むにあたって不利になる、というような風潮をなくしたほうが良いと思います。
・ 高齢化なので、若い人が増えたらいいな。
・ 子どもができると、地域みんなが優しくなる。助け合いが深まる。
・ 女も前に出てほしい
・ 質問がどのように変化すると”不平等が改善される”ではなく、”地域活性化するか”という設問に少し疑問があります。地域では、”結婚していて””子供がいる”人が存在を認められます。それと同時にそういう人に地域の仕事や役が回ってきます。独身で、実家に住んでいる方も担えるようにしてほしいです。 そして、今住んでいる人もそうですが、親亡き後住むかもしれない子ども世代を巻き込まないと議論が、今の時代のものになっていきません。「人口減少といっても自分が死んだあとだから知らん」では、前向きに議論できないです。

④その変化を生み出すためには、何が必要だと思いますか。

住民参加・話し合いの場

- ・ 耳ざわりの良い話をするのではなく、実情を正直に話す
- ・ わかりませんが、みんなが楽しく参加出来る何かですかねえ

環境づくり

- ・ 子供たちの居心地が良いと感じられる事。すなわち、子育てがしやすい環境。
- ・ 学校教育改革。
- ・ 個人の意識改革、入会をしなくてもフォローアップできる人材派遣などの環境づくり。
- ・ 世代交代しても子育て世代にはその余裕がない。高齢者福祉は大事だが、同じように子供への福祉サービスや子育て世代へのサポートが薄い。地域により同居率が高いと祖父母のサポート受けられる方も多いが、核家族はワンオペで子供に我慢させている事が多い。
- ・ 地域による教育。

意識変革

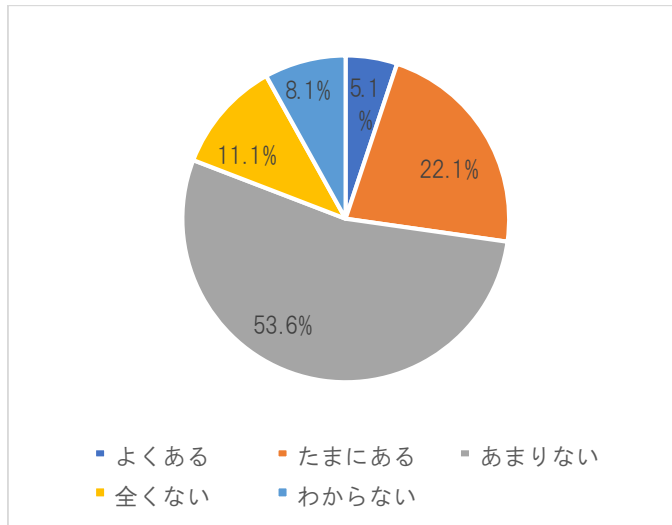
- ・ 地域の人の意識の改革。特に年配の世代。
- ・ 先行事例の紹介など
- ・ 男女平等
- ・ 世代交代
- ・ コロナ禍で行わなかった行事はすべて無駄である。ただし、独居老人などは話し相手を求める場合があるため老人同士の交流会は必要。

その他

- ・ 私は変化をそれほど求めていない。自分は女性だからやめておこうとも思わない。同じ人間として発言する。女性が自信を持って言いたいことを言えばいいだけ。
- ・ 老害が引退すること
- ・ もう少し地域自体が前向きに取捨選択しなければ、来られた方もすぐ嫌になってしまう気がします。

4. 平等感

①ご自身の性別に関して、損をしたと感じることはありますか。



よくある	12	5.1%
たまにある	52	22.1%
あまりない	126	53.6%
全くない	26	11.1%
わからない	19	8.1%
計	235	100.0%

②それはどんな時ですか。

職場環境の違い

- ・子どもが保育園を休む時に会社を休むのはいつも私「女性」夫は本当に無理な時しか休めない。平等に休みが取れたらいいなと感じた。男性育休を取りたいと思っても取れる雰囲気ではないし、育休のことも職場が聞いてもくれない。
- ・育休や産休を取らずに昇進し続けられる。
- ・男だから 仕事で責任を負わされる。
- ・男性との給料や待遇に差があるとき。
- ・実力を評価されないとき。その機会すら与えられていないと感じることがよくある。特に南砺市では。
- ・復職したいが育児への協力がなくてできない。

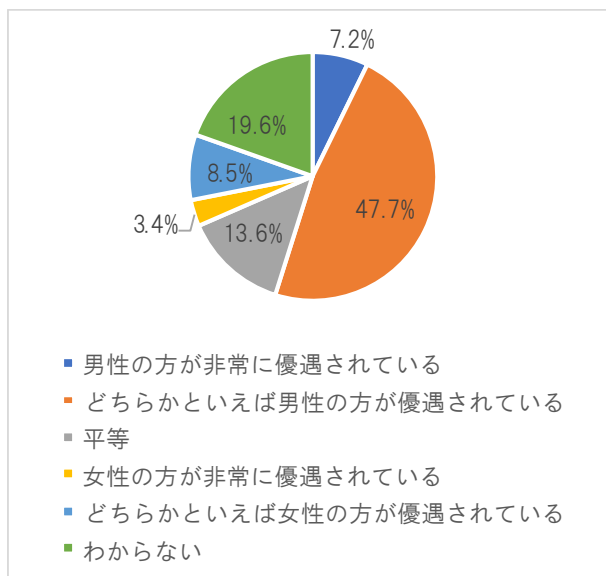
性別による役割分担

- ・男だからやってください。と言われるとき。(ちょっとした外仕事や雑用)
- ・家事の分担。亭主関白の家庭で育った方を見た時
- ・求められる役割期待が大きすぎる。同じフルタイムにも関わらず、家にいる間休む暇は全く無く育児家事におわれ、金銭的自由はない一方、好きに飲み歩き、携帯を見て爆笑し、ゴロゴロしている夫、舅を見るたび感じる。
- ・家事の不平等
- ・男は家庭や子供のことを気にせず、好きな時に外出したり出来るが、女は子供がいると、そもそも外出も子供と一緒にだし、子供を置いて行くとなると、前もって色々段取りしないと出掛けられない。PTAの役員なども、男性は何も気にせず家を出られるが、女性が夜出掛けるのはかなり負担です。特に核家族は。

・家事、育児に関して。
・家事、子育て
身体的違い
・妊娠、出産、育児が辛い時
・毎月生理が来てその度に一定期間体調不良が続くと分かっている、毎日毎日仕事家事育児をしなければいけないとき。
・結婚、妊娠、出産、育児において負担がどうしてもおおく、仕事を続けられないことが多い。それによりキャリアが積めないことが多々ある。
・生理。妊娠、出産などでマタハラを受けやすい。
・仕方ない事だが、妊娠すると女性ばかり体調も悪くなったり、動きづらくなったり、仕事を休んだり、つらい思いをするから。
・生理がくる。ナプキンを買わないといけないのは、女性だけ。化粧等しないといけない。余計なお金がかかることが多い。
・生理のとき。
・妊娠、出産は女性しか出来ないこと。その苦しみも女性だから経験できないこと。
・出産時、女性だけ痛い思いをする時。その上、旦那の希望の性別でなかった時に「あー女の子が良かったな」と産後直後に言われた時。帝王切開だったので旦那は立ち会いきず私の苦しみを理解してもらえなかった。
・妊娠、出産。我慢も苦しみも痛みも女性ばかり。
周りの人の意識・風習
・女なのに、と言われるとき。面と向かって言われることは減ったが、空気を感じることもある。
・結婚によって苗字が変わった。女のほうが変わるべきと義実家の要望が強く、従うしかなかった。今は、免許証、住民票に旧氏を表記し、旧氏のままで通せるところは通しているが、子ども関係、役所関係、医療関係では旧姓使用が難しいので、幅が狭まっている。つまり毎日の生活の中で、女だったから自分の名前を奪われたと感じるので、損をしていると毎日感じている。
・女は料理をするもの、できるものと思われること。
・育児、家事は女性がするもの。子供が風邪を引いたら女性が仕事を休むのが当たり前という風習。
・立場が弱い。
・女性だから夫の責任まで背負わせることは違う。上の世代と考え方が違いすぎる。
・自分が体調を崩したら弱いなと見られ、子どもが体調悪くなるといつも休むと見られる時。
・女性だから男性をたてるべき、男性よりも目立つなと言われること。女性だから難しい話は分からないだろうと居ないものとして扱われた時。

・ 年配の男性の発言が失礼すぎる時。
・ 前職では小娘が何を言っても相手にされない事があった。相手の女性への偏見のものさしによる。こんな事があると仕事にならない。話にならない。
・ 男は女性について発言したら鬼の首をとったように批判されるが、その逆は無いこと
・ 女だからと弱くみられ、強くものを言われるとき。
その他
・ 南砺市に居住したこと。
・ 祭りへの参加。
・ 銀行の駐車場でバックをして車を入れ直していたら後ろから勢いよく駐車場に入ってきてクラクションを鳴らされたとき。怖い思いをした。
・ 保育園の父母会なのに役員が全員女性であること。
・ 女は大変すぎる。

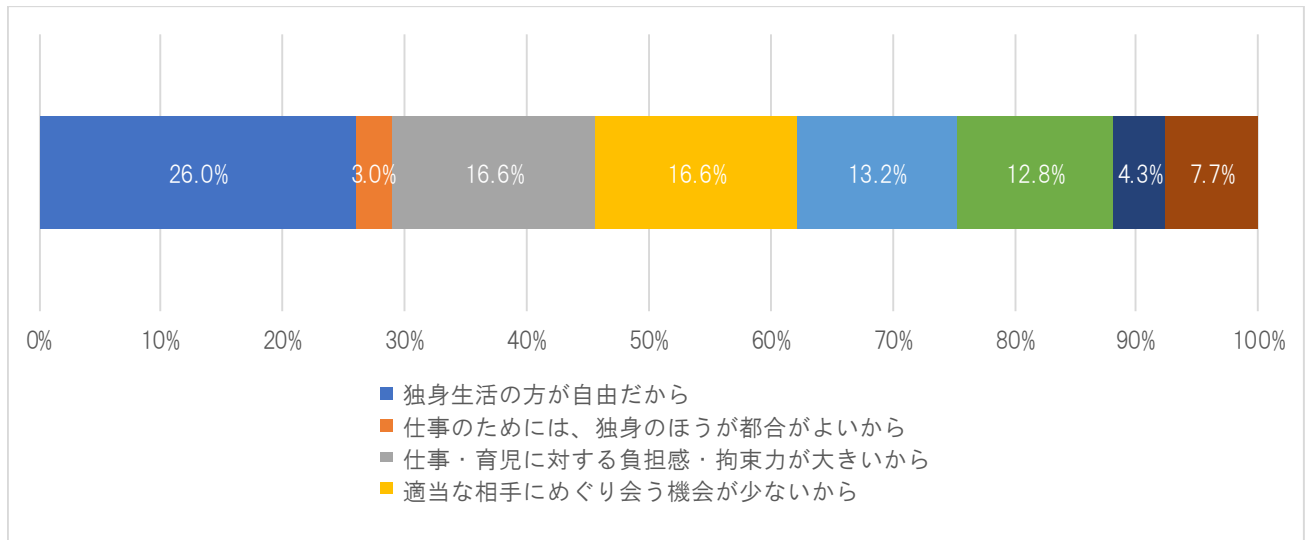
③男女の地位の平等感について、どのように考えますか。



男性の方が非常に優遇されている	17	7.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	112	47.7%
平等	32	13.6%
女性の方が非常に優遇されている	8	3.4%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	20	8.5%
わからない	46	19.6%
計	235	100.0%

5. その他

①未婚化・晩婚化の理由についてあなたはどのように思いますか。

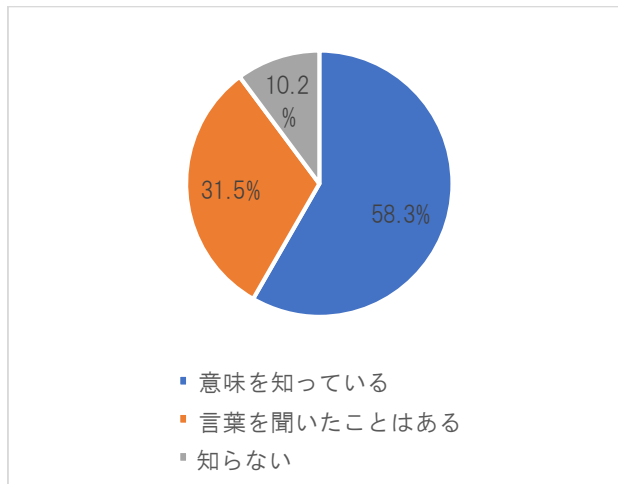


<その他回答>

・ 自分のしたいことが出来るのは独身の間だけとよく年寄り言う。
・ 経済的な理由もあるが、男性が稼ぎ頭とならなければならないという風潮。起業する ならともかく、サラリーマンの給料が減る中で家庭を背負うことに対するためらい。
・ 社会的責任を極度に軽視する風潮
・ 分からない
・ 結婚をしなきゃいけないという風潮自体がそもそもおかしいと思います。
・ 将来の不安から理想が高くなる（大体経済的理由）
・ 価値観の多様化
・ 現代生活によるホルモンバランスの変化によるもの。
・ 独身でも無理なく生きていける環境に変化してきているから。
・ 女性の高学歴化のため仕事ができるようになってから結婚を考えるため。
・ 上記全てその通りだと思う。特に昭和の時代と変化しているのは「女性は結婚して子 育て」という概念よりも、仕事等での活躍の場が増え男女平等に近づいてきた結果も 一理あると思います。
・ 価値観が変わった。結婚がそれほど重要視されなくなってきた。
・ 周りの世話を焼く人が減った、独身が当たり前の環境。
・ この解答のどれもが当てはまる。
・ 大学を卒業して就職して仕事に慣れてから結婚となると遅くなる。
・ わがままな奴らが増えた。
・ 仕事、家庭、育児それぞれに対する負担や拘束力が大きく、そのために条件を考 えようとどうしても理想が高くなるため。

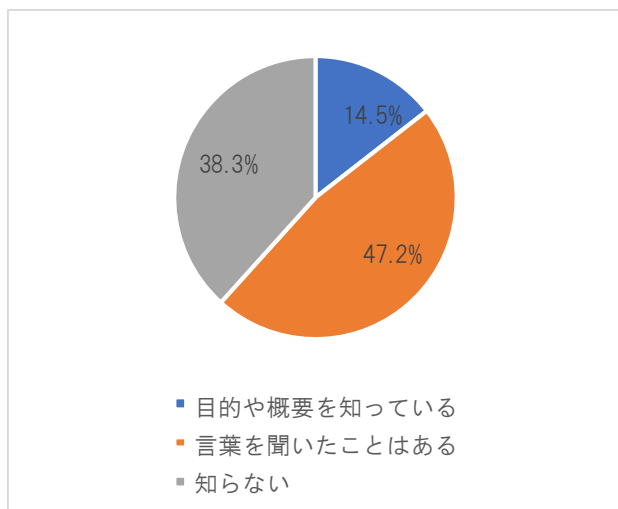
- ・ 選択の自由があるからだと思います。地域では、” 結婚していて” ” 子供がいる” 人が存在を認められます。それと同時にそういう人に地域の仕事や役が回ってきます。その姿をみていたら、積極的にそちらに回りたいと

②「ジェンダー平等」という言葉をご存じですか。



意味を知っている	137	58.3%
言葉を聞いたことはある	74	31.5%
知らない	24	10.2%
計	235	100.0%

③「女性差別撤廃条約」を知っていますか。



目的や概要を知っている	34	14.5%
言葉を聞いたことはある	111	47.2%
知らない	90	38.3%
計	235	100.0%

④その他市政について

- ・ パパの育児参加を促すパパ講座などがあり、夫も第二子のときから頻繁に支援センターへ連れて行って遊んでくれるようになった。公園でもパパが子どもたちを連れて遊んでおられる様子を夕方や休日によくみかける。
今後も、意識改革を子育て世代がしていけるように、継続して講座や環境整備をお願いしたい。
- ・ 市長が「低所得でも幸せに暮らせる南砺市」と、言っていたことが忘れられない。

お金がなければ、今が幸せでも、子供の未来の選択肢はなくなる
・ 女性が不平等という事もあるが、男性が不平等にされることも多いと知ってほしい
・ 素晴らしい施策を行なっておられるので、もっともっとPRしてほしい。
・ 福光に公園が少ないと思う。安心安全に子どもがのびのびと遊べる公園があったらいいのに…！！と日々感じており、それも理由の一つで他市への移住を考えている。
・ まちづくり基本条例では各種審議会などの委員の一部を公募により選任するとともに、原則として男性または女性のいずれか一方の割合が7割を超えないとされていますが、男女の別は撤廃すべきではないかと考えます。
・ 南砺市は市民に役立つ施策をやってなくて、移住する人やキラキラした人にばかりお金を使っている感じ。
・ 市の施策はどこで知るか不明。広報に記載があるのなら、もっと記憶に残る工夫が必要と感じた。
・ 人口は減っているが平高校を潰さないでほしい。福光高校の跡地を子どもの室内遊具の遊び場にしてほしい。氷見のような。
・ これまでに捉われない革新的な施策をお願いします
・ 子育て支援に関しては、他の自治体に比べて非常に手厚いと思う。除雪も雪が多い割に行き届いており、さほど不便を感じない。市役所の担当部署への各種問合せも、非常に的確に対応して頂いており、たらい回しなどがなく、満足している。 全般的に南砺市は人口の多い自治体ではないが、ひとりひとりの市民を大切にしていると思う。
・ 特に無。公共施設で、親がトイレに行きたい時、5分でいいので子供を見ていてほしい。
・ 子育て応援券を紙ではなく電子マネーかポイント制にして欲しい。 紙だと持っているのを忘れてしまうことが多いのでケータイとかで使えると忘れずに使い切れと思います
・ パパ講座やパパのイベントなど、男性の育児参加を呼びかける姿勢はとても良いと思うので続けてほしい。給食費を上げてもいいのでご飯を保育園で提供してほしい。朝の準備が大変なので。
・ 中学生の部活動は、部活だけを南砺市で選べるようにした方が、都合が良かったりする。もっと気軽に選ぶことができる。その分野に長ける生徒が集まったらもっと内容の濃い練習や中学生を送ることができると思います。 少子化の中、福光地区の中学校の統合がなぜできないのか。何にしても無駄が多いと感じます。
・ 満足しています。
・ 保育園園長の親に対する舐めてかかる態度や高圧的態度を改めるような指導、教育力

リキュラムの実施を強く求めます。子ども相手にはプロかもしれませんが、大人相手に馬鹿げた態度はどうかと思います。
・ 市長さんにこの声が届くかわからないが、屋内で遊べる広めの遊具施設を作ってほしい。子供(未就学児)の遊び場が少ないように思う。桜ヶ池へ行くが小学生の子供達も多く小さな子供達が遊べない。公園が少ない。車が止められて遊べる場所がほしい。福野に水遊びが出来る公園を作ってほしい。
・ 若い世代の子育てに金銭的支援を増やしてほしい。 金銭的に考えて2人目を迷う、3人目はムリな状況の家庭も多いと思う。
・ 南砺市に限らないが…空き家問題。建物が建っている方が税の優遇されるのはおかしい。逆にドーンと課税するべき！これから空き家ドンドン増える一方だと思っています。
・ 保育士さんや学校の先生で女性が時短勤務をとっているという例を私の周りでは聞いたことがありません。まずは、公務員での立場から意識改善、時短が取れない状況であれば、必要であれば保育士、学校の先生の増員など対策を考えてみたらよいのではないかと思います。
・ 出産手当金について、令和4年4月以降に一律10万円となったことは驚きました。令和3年度では3人目以降は人数において金額が上昇していたので、かなり思い切った政策だと思いましたが、1年間で金額が変更されたので少し肩透かしを食らった気分でした。ですが以前は商品券だったのが現金に変わったことは汎用性に富んで嬉しく思います。一方で、市内での経済発展のためには策を練らねばならないと思っているのも事実です。小矢部では、大規模なアウトレットができましたが経済的にはプラスになったのでしょうか？市から招致して大規模なショッピングセンターを建てる、あるいは現在ある公園で遊んでスタンプラリーができる(ここを直すべきなどのアンケートをとる)など、子どもを外で遊ばせるきっかけがあればいいと思います。
・ 子育て支援に、もっと力を入れてほしい。明石市のように手厚くしてほしい！
・ 男女平等については人それぞれで意見も違えば、地域によって差別感も感じにくいところもあります。また、家庭でどんなに男らしく女らしくを無くした考えをしていますが、学校や保育園等ではどんな状況なのか気になることがあります。 近頃、色については性別のカラー付けのようなものも減ってきたのかと感じますが、具体的に市民がどう感じてどう取り組んでいくことが正解なのかが分からないので、勉強していきたいと思っています。
・ 三人目が欲しいが保活で入れるか入れないかハラハラするのはもう嫌だ。保育園に入るのに義母が65歳まで働く必要があるのに義父なら60歳というのは男女不平等ではないか？三人目に躊躇する原因になる。 学童に入れる条件とかがわからない。↑と同じく祖母の要件があるのか？どこかに詳細をあげてほしい。

・ 南砺市としては様々な方面で力を入れてもらっているという実感があるので、これからもこの方針を続けていただければ嬉しい。
・ 医療機関が少ない。こども権利条約は理想としていいがまだまだ地域性にそぐわないのではないかと感じることもある。また福祉との連携制も大切ではないかと考える。
・ 中学生も冬場のバス通学をしてもらいたい。夕方だけだと、朝は送っていかなくては いけず、その時点で仕事を選ぶ制限が生じ、朝中学校前に行列が出来る。バスが一台 出るだけで、親の負担も減るし、排気ガスも減るのでは？その分のお金の負担があっ たとしても、その方がありがたい。
・ 出産した人や子育て世帯の給付金を手厚くした方がいいと思います。
・ 子どもと妻の職場は平の保育園ですが、住んでいるところは砺波市です。
・ 南砺市は子育てに対して、非常に優遇されていると感じる。充分です。強いというな ら、仕事柄急に休めないことが多く、病児保育なども充実してもらえると大変助かり ます。ご時世的にも厳しいとは思いますが。また、経済的理由で子供を作らないと聞 く。市ではどうにもならないので、国の施策で高齢者の優遇より子どもを守る方を優 先して欲しい。
・ 最初の年齢を選ぶ所、欄外なんやなあって少し思いました。男女の力の差、考え方の 違い、体型や体質の違いなど色々固定観念があるから男だから、女だからと不平等な 言い方だったり、不平等だと感じたりするのは？と。最近は男女の境界が混ざって いるので、出来ることをやって、出来ないことはフォローしあえればと思います。ど うしても男性には勝てないこともあるし、男性も出来ないことがあるのは仕方のない ことだと思っています。
・ 本来、家庭内で両親のあるべき姿を示すべきですが、父親にその意志がないと子供達 もそれで良いと思って成長すると思う。学校でも、将来の家庭のあるべき姿を教えて いただき、子供達にはぜひ、夫婦で協力して家庭を築いてほしいと思う。
・ 私の職場ではここ数年の間に「男女共同参画」をうたい、女性の役職者を増やそうと 取り組んでいます。それは良いのですが、これまで男性メインだった業務量の多いポ ストに、未就学児の子供が居て夫も仕事が忙しいという女性を配置するなどで、WLB もへったくれもない人事がされています。（そういう人事をするなら業務配分の見直 しをしろ） 南砺市さんにおかれましては是非そういった事が無いような人事をされる事を願って います。（既になされている事とは思いますが）
・ 女性は子育てで忙しいからといって、いろいろな役員や話し合いの場に呼んでもらえ ること自体が少ない。そうではなく、女性だってそういった場に気軽に出て、意見を 伝えられるような家族や地域の意識の改革を働きかけてほしい。未婚、既婚、母であ るかどうかに関わらず、もっと女性が意見を堂々と言える土壌を作してほしい。

・ 子を持つ親の意見として、南砺市は中学校の部活動のありかたについて協議されていますが、福光地域において現在2つある中学校を1校に早く統合すべき。小矢部川を境にして校区を分けるという昔ながらの考えはもう古いです。そんな一部の古い考えの人がいるせいで子供達が犠牲になっています。
・ 小さな子どもを遊ばせられる、安全で清潔な施設がない。いつも土日になると、子どもの為、市外、県外の施設に連れて行っている。市内にある公園は遊具が古く、使えないままのことが多い。トイレも暗い、汚い、狭い。
・ 公園を増やしてほしい。
・ 雨の日でも子供達が遊べる大きい遊戯施設をつくって欲しい。子どもを持つ親世代の声をもっと取り入れて子育て支援や学校再編などを議論してください。今回のようにもっと学校や保育園を通じてアンケートを集めて市政に反映させてください。年配の方々が集まって議論して、私たち親世代の声を本当に反映してくれているのか、疑問です。子供達にとって幸せを感じられる南砺市にしてください。
・ 夫婦別姓を希望します。 女性も働いている方がほとんどで学校でも、職場でも苗字で呼ばれることがほとんどです。結婚するとほとんど女性が名前の変更をしなければなりません。自分の名前が無くなり、呼ばれなくなるとアイデンティティが失われます。今までの自分の名前が亡くなり、新しい名前で生きなければなりません。その他色々な手続きもありモヤモヤします。名前は大事です。
・ やっている感だけで、ホントに中身を考えている職員ゼロ人説
・ 消防団の操法大会については、開催を維持するにしても指導方法を見直したほうが良いと思います。消防団は有事に動ける人を確保するものだと思います、その必要性は感じます。操法大会も消防の機器の扱い方法を習得し、団員のつながりをつくるという部分を大事に実施する分にはよいと思いますが、根性論を叩き込む場にしないでほしいです。 男女平等に関しては、地域の仕事をすることが上か、家の仕事をすることが下なのかよくわからなかったため回答がわからないになりました。イメージとしては地域全体として男性に地域の仕事を負わせ、女性に家の仕事を負わせているイメージです。